

新年のご挨拶



理事長
粟 貴 章

新年あけましておめでとうございます。

組合員並びにご家族の皆様におかれましては、すこやかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より当共済組合の事業運営に対し、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

わが国は加速する高齢化に伴うさらなる医療費の増加が見込まれています。いわゆる「団塊の世代」が本年より75歳に到達し、続々と後期高齢者に移行することで、現役世代の高齢者医療費負担が限界に達している状況です。当初「2022年危機」と呼ばれていたこの構造変化は、新型コロナ

ウイルス感染症の発生により実質1年は前倒しになっているという指摘もあり、事態はすでに深刻なものとなっています。

政府は「一定所得以上の後期高齢者の医療費窓口負担を2割へ引き上げる」など、現役世代の負担軽減につながる法改正を成立させ、本年以降順次施行されていく予定となっております。しかし、一連の改革内容は現役世代の負担を軽減するためには決して十分とはいえず、抜本的な改革が求められています。

年金制度につきましては、本年4月より在職老齢年金、受給開始時期の選択肢拡大などの改正が行われます。皆様にも影響のある重要な改正となるため、内容については丁寧な周知に努めてまいります。

次に保健事業につきまして、共済組合では、疾病予防・重症化予防のための事業を積極的に行っております。病気の進行を防ぐには、定期的な健康チェックとその結果を活かした日々の健康管理が大きな鍵となります。共済組合がご案内する「特定健康診査特定保健指導」「人間ドック検査」などの各種保健事業は、そうした鍵を強固にする助けとなります。健康であれば医療機関

にかかることもなく、医療費の節減にもつながりますので、ぜひとも積極的にご活用いただき、健康を維持されますようお願いいたします。

宿泊事業につきましては、粟津温泉「おびし荘」において、引き続き感染防止対策を徹底しながら、さまざまなプランをご用意し、皆様に満足いただけるようサービスに努めてまいります。本年もご愛顧いただけますよう、よろしくお願いいたします。

貯金事業におきましては、市中金利は低金利が続いていることから、組合員貯金の残高は増加しております。皆様からお預かりした大切な資金を今後とも適切な運用に努めてまいります。

結びに、本年が皆様にとつて実り多き年となりますことをご祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

